



長き旅、始まる。

ようやく社会へたどり着いた。
彼らの人生は、これからが本番だ。

ウミガメの子供は、明るい方向へ向かう習性があり、迷うことなく海へと上り着くことができるといいます。しかし、海よりも明るい街灯などの光があると、子ガメはそのままに向かってしまい、海にたどり着けないです。

義務教育から高校を経て、本学に入学した彼ら。私たちは、彼らを正しい方向へ導くため、学生と教職員の距離が近い」大学ならではの教育と密なふれあいを通じ、明るい未来を指示してきました。

最初は弱々しく見えていた彼らも、地域社会との交流を通じて、目に見える成長を遂げました。

「学生と教職員の距離が近い」大学ならではの教育と密なふれあいを通じ、明るい未来を指示してきました。そこへ向かう彼らの「笑顔」と「エネルギー」。

就職活動のときも、決してあきらめず、将来の夢に向けてチャレンジし続けました。彼らは、彼らの変化に、たくさんの「勇気」と「誇り」をもらいました。

彼らは、多くの時間を過ごし、思い出は数えきれませんが、目を閉じると様々なシーンが昨日のことのように浮かびます。それは、子の成長を思う親の心境に似ています。

今後彼らが、雨風に立ち向かう日がこようとも、学生時代に築いた地域との「絆」がある限り、きっと大丈夫だと思います。なぜなら地域社会の皆様の力が、彼らを奮い立たせるから…。

彼らは、素直で、しっかりとした目標を持つていますが、実はシマイ一面もあります。は、「なんだ彼らを見かけたら、どうぞ声をかけてあげてください。」

精いっぱい向き合い、真剣に導いた学生たちです。
地域の皆様、彼らの新たな人生を、よろしくお願ひします。



学校法人松商学園
松本大学・松商短大

松本大学第3期生、松商短期大学部第54期生、本日卒業式